

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	膵癌組織を用いた膵癌の診断・モニタリングに関する検討		
1. 研究の目的と方法	【目的】超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)で得られた検体の免疫組織化学染色(IHC)により膵癌と膵癌以外の膵病変をより精度高く鑑別することです。 【方法】当院にて膵病変に対してEUS-FNAを行い、病理学的に膵癌の確定診断に至った患者さん、膵癌以外の膵病変（膵良性疾患や膵癌以外の悪性腫瘍）の診断に至った患者さんを対象とします。我々はこれまでに膵癌の早期診断に有用な新規候補タンパク質をいくつか同定しました。今回は、これらのタンパク質をターゲットとしたIHCを行います。まず、手術を行った患者さんの手術検体のIHCにより候補タンパク質の染色パターンを確認します。次にEUS-FNA検体を用いて同様にIHCを行い、膵癌と膵癌以外の膵病変における染色度合いの差を検討します。また、カルテにて治療法、治療効果、予後に関する採血データ、画像データを収集し、膵癌と膵癌以外の膵病変のIHCにおける候補タンパク質の染色度合いと治療効果、予後などの相関についても検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	膵癌及び膵癌以外の膵病変の患者さんで、2013年1月1日～2023年12月31日の間に附属病院にてEUS-FNAを受けた20歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	EUS-FNA検体、手術検体	
	(2) 試料の取得の方法	EUS-FNA検体のパラフィンブロックおよび手術の時に切除した病変のパラフィンブロックから数 μm の厚みの切片をいただきます。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、検査結果（血液検査、画像検査）、治療内容	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座
		氏名	島本 奈々
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ		

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025年2月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座 研究責任者：助教 島本 奈々（しまもと なな） 窓口担当者：同上 電話番号：03-3433-1111(3181) 対応時間：平日9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。